

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑮ 公開実用新案公報 (U)

昭58-90420

⑯ Int. Cl.²

識別記号

庁内整理番号

⑰ 公開 昭和58年(1983)6月18日

G 05 G 1/14

7369-3 J

B 60 K 25/02

6948-3 D

B 60 T 7/06

7146-3 D

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑱ アジャスタブルペダル

豊田市トヨタ町1番地トヨタ自動車工業株式会社内

⑲ 実 願 昭56-181847

⑲ 出 願 人 トヨタ自動車株式会社

⑳ 出 願 昭56(1981)12月7日

豊田市トヨタ町1番地

㉑ 考 案 者 木村賢治

㉑ 代 理 人 弁理士 神戸典和 外2名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

クラッチペダル、ブレーキペダル等の車両用操作ペダルであつて、

水平軸線まわりに回転可能に設けた上部アームの下端部に、ほぼ車両の前後方向の長穴を形成するとともに、該長穴の少なくとも一方の側壁に該長穴の長手方向に間隔をおいて複数の切欠を形成する一方、下端にペダルパッドを取付けた下部アームの上端部に、車両の前後方向に間隔をおいて2本の突起を設け、該突起の一方を前記長穴に、他方を該長穴または該長穴にはほぼ平行に形成した別の長穴にそれぞれ嵌入させるとともに、該下部アームの自重によつて発生する回転モーメントによつて前記2本の突起の少なくとも一方が前記複数の切欠から選ばれた1つに係合した状態で該下部アームが前記上部アームに安定に支持されるように構成したことを特徴とするアジャスタブル

ペダル。

図面の簡単な説明

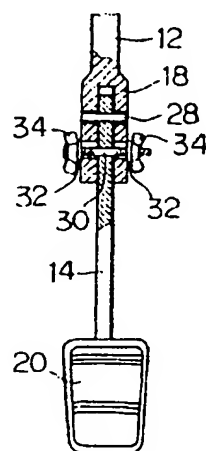
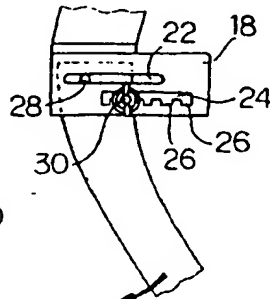
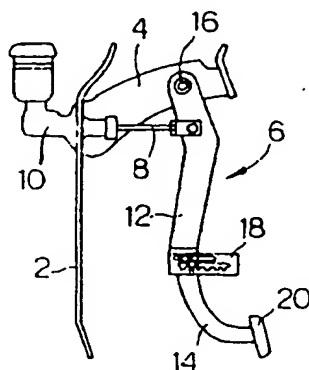
第1図は本考案の一実施例であるクラッチペダルを含むクラッチ操作装置の側面図である。第2図は第1図に示したクラッチペダルの要部を断面にして示す正面図である。第3図は同じく要部の側面図である。第4図は本考案の効果を示す説明図である。第5図は本考案の別の実施例における要部の側面図であり、第6図は同じく正面断面図である。

4:ペダルブラケット、6:クラッチペダル、12、42:上部アーム、14、50:下部アーム、16:枢軸、18、44:連結部、20:ペダルパッド、22、24、46:長穴、26:矩形切欠、28、52、54:ピン(突起)、30:ボルト、48:切欠。

第1図

第3図

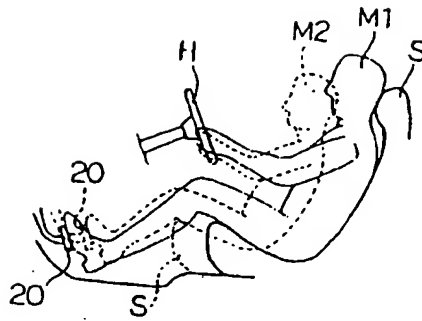
第2図



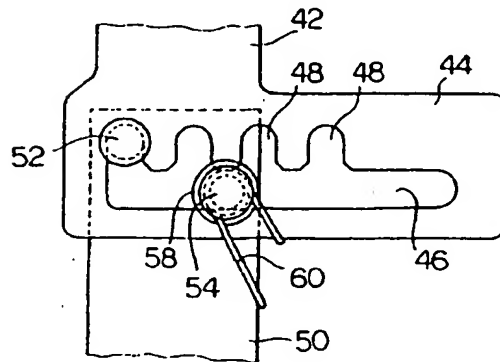
BEST AVAILABLE COPY

KSR 003044

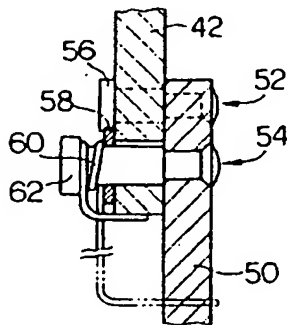
第4図



第5図



第6図



BEST AVAILABLE COPY